

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
浏览 勇次郎			
C (商学部)	L (基礎科目)	SS (社会)	103 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	現代社会には、私たちの暮らしに直結するさまざまな経済問題がある。経済の現状をどう捉えるのか、企業経営の在り方や私たちの働き方、急速に進む高度情報化・グローバル化の意義や影響をどうみるのか、景気はどのように移り変わるのか、また少子・高齢化や財政・環境問題と経済成長の間にはどのような関係があるのかー現実の経済のメカニズム・諸問題を、暮らしの観点から具体的に取り上げながら問題意識・関心を深め、経済についての基礎的な理論や考え方を学んでいく。		
授業計画	第1回	オリエンテーション／経済は身近な重要な問題であることを学ぶ。この授業の運営方法、授業のねらい・学習内容の概要と到達目標、成績評価の方法など 予習：人はなぜ働くのか、働く意義は何か、また暮らしとの関係などを考えてみる。(120分) 復習：用意した「ノート」に学習のポイントをまとめて、この授業の全体像をイメージしてみる。(120分)	
	第2回	現代の市場経済(1)／市場メカニズムとは何か、市場経済の意義と限界、政府の経済的役割、シェアリングエコノミー、ベーシックインカム 予習：マーケット・メカニズムとは何か、について予備知識を得ておく。(120分) 復習：マーケット・メカニズムの特性と限界を理解し、混合経済の必然性と問題点をおさえる。(120分)	
	第3回	現代の市場経済(2)／市場経済の多様性、日本型経済社会(歴史、文化、習慣など)の特徴 予習：日本社会の特質をネット検索や関連文献で調べてくる。(120分) 復習：群馬県や高崎市の各種経済指標ー人口、生産、物価、財政などをネット(県や市のHP)などで調べる。(120分)	
	第4回	家計の役割／働く意義、消費と貯蓄、税金の負担、ライフスタイル(キャリア) 予習：高齢社会とは何か、この社会では、どんな問題があるのかを考える。(120分) 復習：生涯にわたって働くことの意義を理解する。(120分)	
	第5回	雇用・労働をめぐる／賃金、労働時間、労働人口、女性労働、「ワーク・ライフ・バランス」 予習：日本的雇用慣行の現状、問題点などを探しておく。(120分) 復習：海外諸国の雇用・労働の現状を調べて、理解を深める。(120分)	
	第6回	企業経営の在り方／企業の役割、企業の経営戦略、資金の調達や企業間取引関係など 予習：例えば、日米における経営戦略の違いなどを予め、関連文献、ネット情報などで調べておく。(120分) 復習：地元・高崎(あるいは群馬県)に本社を置く企業を調べる。(120分)	
	第7回	情報社会の暮らし／産業・社会構造の変遷、技術革新、ICT革命(AI、IoT)のもたらす影響、群馬県や高崎市の産業構造の特徴 予習：技術革新の役割、産業構造とは何かなどを調べる。(120分) 復習：産業構造の変遷を捉えて、今後の方向性を探してみる。(120分)	
	第8回	マクロ経済の基礎(1)／総生産や国民所得、経済成長などの概念、群馬の県内総生産、市内総生産などについて 予習：GDPやGNPなどの基礎的タームについてどんな使われ方をしているのか、見ておく。(120分) 復習：GDPや経済成長率の国際比較をしてみる。(120分)	
	第9回	マクロ経済の基礎(2)／社会の総需要、総供給の変動と両者の関連、ケインズ政策の役割(景気対策の基本)、インフレーション・デフレーションとは何か 予習：社会全体の需要と供給の関連を調べておく。(120分) 復習：ケインズ経済学の基本を復習し、その意義を理解しておく。(120分)	
	第10回	暮らしと景気(1)／景気とは何か、景気の見方、「景気循環」のメカニズム 予習：好景気あるいは不景気とはどんな経済の状態なのか、調べておく。(120分) 復習：景気循環の理論、見方を確認し、理解を深めること。(120分)	
	第11回	暮らしと景気(2)／景気の現状をどう見るか、景気循環のパターン、今後の景気を予測してみる、また群馬県の景気の動向を探る 予習：現実の経済情勢、景気の状態をある程度調べておく。(120分) 復習：アメリカや中国などの景気も調べる。(120分)	
	第12回	現代の財政／国の財政(予算)、財政政策の手段と役割、ケインズ政策の功罪、群馬県や高崎市の財政について 予習：政府の一般会計予算を調べておくこと。(120分) 復習：財政健全化の方策を考察してみる。(120分)	
	第13回	現代の金融／貨幣・仮想通貨とは何か、管理通貨制度の意義、中央銀行と金融政策の手段・役割、企業の資金調達方法との関連など 予習：デフレ、インフレとは何か、なぜデフレ、インフレなのか、その影響なども考えてみる。(120分) 復習：アベノミクスの政策効果を考える。(120分)	
	第14回	国際経済関係／自由貿易(WTO、FTA、TPP)、国際的な資本の移動、外国為替相場(円・ドル)、IMF(国際通貨基金)など 予習：自由貿易と保護貿易の違いについて調べておく。(120分) 復習：群馬県内産業企業の海外進出なども調べてみる。(120分)	
	第15回	まとめー持続可能な経済社会／成長経済から成熟経済へ、資源・環境問題、少子高齢化問題など 予習：そもそも経済成長はどんな意義があるのか、考えておく。(120分)	

	復習：将来に向けて、国際社会における日本の立ち位置や歴史的な転換期の意味を考えてみる。 (120分)
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	この授業では、D Pに記載のある「専門的分野の学びを実務や社会に応用できる能力」を身に付ける。 【身に付くスキル】 情報活用能力・生涯学習力
到達目標	①経済問題とは何かを理解できる。 ②暮らしの基盤に経済があることを理解できる。 ③経済の視点から人(人類)の幸せを理解できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題レポートはチェックの上、返却する。
履修上の注意	ふだんからネット情報や新聞、テレビなどの経済関連報道に関心を払ってほしい。 また授業では自分なりにノートをとること。
成績評価の方法・基準	①期末の定期試験(70%) ②課題レポート(10%) ③学習意欲(20%)
教科書	とくになし
参考書・教材	【参考書】授業中に必要に応じて紹介する。 【教材】授業中に配付する。
備考	講義科目
教員との連絡方法	メールによる (アドレスは授業で案内)。